

## 長期研修プログラム

## スペイン (第42回)

サラマンカ大学



マヨール広場

## 佐藤 愁真 外国語学部 スペイン語学科 2年

栃木県立宇都宮北高等学校出身  
2023.4 拓殖大学入学  
2024.8 スペイン長期研修参加

## サラマンカ留学

## 【研修先の紹介について】

研修先であるサラマンカという街は旧市街全体が世界遺産に登録されている街で、古くから学生都市として繁栄してきました。サラマンカ大学（通称 USAL）は1218年設立のスペイン最古の大学です。毎年世界中から多くの学生がこの大学に勉強しに来ます。私たちは大学付属の語学学校である Cursos Internacionales で勉強します。学校は中心部から徒歩10～15分の所に位置しています。また校内は、様々な国の生徒がおり、国際色豊かな雰囲気になっています。さらには Wi-Fi も完備されており、生徒は快適な環境で勉強をすることができます。日本と違うこと、それは物事にとらわれない自由な生き方です。例えば、スペインではお昼ご飯を食べ終わると Siesta というお昼寝をする時間があります。この時間は基本のお店も閉店します。日本では考えられませんがこれもスペイン独自の文化なのかもしれません。食べ物もおいしいものがたくさんあります。サラマンカの有名な食べ物といえば、Jeta という豚の頬の部分あげたもので見た目は一瞬びっくりしますが味はとても美味しいです。街の人たちもとても陽気で親切な方が多く、バル等に行っても気さくに話しかけてくれたり、とても素晴らしい経験をするのできる場所です。

## 【日常生活について】

平日は朝の9時から授業が始まるため、朝8時半過ぎに家を出て学校へ向かいます。13時（時間割によっては14時）になると授業が終わるので帰宅し、ファミリーたちと昼食をとります。私のホームステイ先では1品目にじゃがいもや豆のスープ、2品目に肉や魚などのメイン料理とサラダ、最後にフルーツが基本でした。クリスマス



バルセロナ試合観戦

スなどには特別メニューもできます。その後は少し昼寝をして、カフェに行ったりサッカーをしたり散歩したりして過ごします。そして21時に軽めの夕飯をとり1日は終了です。毎週木曜の夜はスペイン人との交流会があるのでそこに行って文化交流をしたりもします。週末は友達たちとバルに行ったり、ディスコに行ったりします。また RENFE という電車を利用してマドリードなどの都心部に遊びに行くこともできます。各コースの間の休みや冬休みなどの長期休暇には飛行機やバス、電車を利用してバルセロナなどの南部やサンセバステアンなどの北部などに行くこともできます。

## 【研修を通して得たことと、その成果を今後の

## 学生生活や社会へどのように還元するか、について】

今回の研修で得られたことは、忍耐力だと思います。日本語が通じない土地での生活は、最初は不便なことが多く、自分の伝えたいことがうまく伝わらないなど大変なこともたくさんありました。しかしそこで伝え方を変えてみたり、体を使って表現してみることで相手に理解してもらうよう努力しました。また研修期間中は同じ大学の仲間だけではなく、現地にスペイン人とバルなどに行き、あえてスペイン語しか使えない状況下で会話するというおかげもあり、最初に比べてスペイン語を話せるようになったねと友達や先生に言われたときはとてもうれしかったです。この経験から何事も諦めなければ、物事はいい方向に進むということを学びました。まだまだ長いこれからの人生、たくさんの壁にぶつかることがあると思います。その時はこの経験を思い出して頑張りたいと思います。



生ハムとアヒージョ